


リズム体操 (2分35秒)	16	ファイトのポーズをして2拍子で歩く。	
	16	手を胸につけて跳ぶ。	
	16	立ったり、しゃがんだりする。	
	32	8呼間走って自由なポーズで止まる。	
	16	くまのようにはう。	
	32	左右の足を1回ずつ交換しながらバランスを保つ。	
	24	床にねてころがる。	
	16	左右に大きく跳ぶ。	
	16	手をつき出して歩く。	
	16	ファイトのポーズをつくって歩く。	
サンバルカン (35秒)		くり返す。	
ヤングマン (70秒)		くり返す。	

○ 「おに」あそびをする。

「ごんべさんの赤ちゃん」を原曲にし、歌詞をかえて、身体表現をする。話し合いをして、「おに」になる動物を決め、模倣動作を自由にさせ、それらの中から動きを決めていく。大きな声で歌いながら、楽しみのうちに発語を促す。なんとなく参加している児童には声かけや手をとって、ゲームに意欲的に参加させる。

《曲の構成及び動き》

「山から〇〇おりにきた」(3回くり返す) → 動物の模倣をする。

「みんなでいっしょに、いまなんじ？」 (2回くり返す) → 「おに」を囲む。
「よなかの12じ!」 → 一斉に、にげる。

○ スキャット体操



調子のよいゴーゴーリズムで、スキャットのことばで歌われた、おどり出したくなるよ

うな軽快な曲である。楽しくおどりながら、いろいろな動きを覚え、動作の拡大を図る。

《曲の構成及び動き》

1 番	2 番	3 番
		
4 番		5 番
		
6 番	7 番	8 番
	4 と同じ	

④ 教師の役割

T₁が児童全体を見ながら、大きめに身体表現をして学習活動を進めると共に、精一杯がんばっている児童を賞賛して意欲づけを図る。T₂は、テープをまわしたりタンバリンを打ちながら、動きのにぶりがちな児童に声かけをして動く。T₃は、集団活動に参加が難しいY君と行動を共にしながら、声かけをして友だちのようすを見るようにさせる。

3、おわりに

音楽に合わせて、次から次へと身体を動かしていこうとする体験学習は、ある時、新しい動きを見せてくれた。階段を片足ずつ交互に動かして降りられるようになった者、声をかけられると足の裏全体で歩けるようになった者、そして、教師の模倣をできないまでも、じっと見入ったり手足を少しずつ動かし始めた者が出てきたのである。外界の刺激を自分のものとして受容し、その児童なりに反応し始めたのである。

また、どの児童も「リズム学習」をととても楽しみにしている。精神薄弱児にとって、音楽は、自己表現の場を与え、情緒の安定・協調性や集団参加能力を高め、さらに、身体的反応動作を敏速にするとと思われる。

今後、子どものリズム感にあった動きをさらにとり入れて、リズムカルな動きを促すための学習教材を創作し、題材として楽しい活動をさせながら、より望ましい心身を育てていきたい。